

21世紀COEプログラム

「ゲノム科学の知的情報基盤・研究拠点形成」 公開シンポジウム

Symposium on Bioinformatics and Chemical Genomics

日時： **2007年9月20日(木)、21日(金)**

場所： **ぱるるプラザ京都**

京都駅烏丸中央口 東側

プログラム： 20日(木)

10:15- 開会の辞

10:20-12:00 環境ゲノミクス：金久 實、阿久津 達也、馬見塚 拓、加藤 博章、梅田 真郷

13:30-14:50 薬理ゲノミクス：辻本 豪三、乾 賢一、金子 周司、五斗 進

15:10-16:30 ケモゲノミクス：藤井 信孝、富岡 清、竹本 佳司、上杉 志成

16:30- 総合討論

21日(金)

10:00-10:40 招待講演：中村 春木（大阪大学蛋白質研究所）

10:40-11:20 招待講演：John N. Weinstein（National Cancer Institute, NIH）

11:20-12:00 招待講演：田中 利男（三重大学大学院医科学系研究科）

13:30-14:10 新専攻紹介：岡村 均（京都大学大学院薬学研究科）

14:10-14:50 新専攻紹介：北浦 和夫（京都大学大学院薬学研究科）

15:10-15:50 データベース紹介「KEGG/JAPIC 医薬品データベース」

15:50- 閉会の辞

プログラムの詳細は、http://www.bic.kyoto-u.ac.jp/COE/index_J.htmlをご覧ください。

本拠点はゲノムとケミストリーの融合を目指し、京都大学化学研究所バイオインフォマティクスセンターと京都大学大学院薬学研究科の連携を中心に、平成15年度より推進してきたプログラムです。ゲノム情報とケミカル情報の関連解析（環境ゲノミクス）、ゲノム情報の系統的解析（薬理ゲノミクス）、およびケミカル情報の系統的解析（ケモゲノミクス）の方法論を開拓し、バイオインフォマティクスの高度専門教育と副専攻教育、KEGGを中心とした知識集約型データベース構築による国際的な情報基盤整備などを行ってきました。これらの活動の努力が認められ、本年4月より薬学研究科に「医薬創成情報科学専攻」が設置されました。最終年度にあたり、5年間の成果報告と今後の発展を目指した公開シンポジウムを企画しましたので、皆様のご来聴をお待ちしております。